

2020年2月28日
イオン株式会社
イオンリテール株式会社

4/1（水）全国の「イオン」直営全売場でレジ袋の無料配布終了 6月より順次^{※1}、環境配慮素材のレジ袋へ切り替え

イオンは4月1日（水）、資源を無駄にしないライフスタイルの定着に向け、全国の「イオン」「イオンスタイル」「イオンスーパーセンター」等、全801店舗にて、衣料品や暮らしの品を含む直営全売場で、レジ袋の無料配布を終了します。

さらに、2013年より食品売場で販売しているバイオマス原料配合^{※2}のレジ袋に加え、衣料品や暮らしの品売場のレジ袋においても6月より順次^{※1}、FSC認証紙袋やバイオマス配合の環境配慮素材に切り替えます。



今後、順次導入予定のFSC認証紙袋イメージ



本州・四国の「イオン」の店頭告知例

イオンは1991年より、「買物袋持参運動」を開始し、お客さまとともにレジ袋の削減に取り組んでいます。2007年からは、食品売場のレジ袋無料配布中止をすすめてきた結果、実施店舗での辞退率は約80%^{※3}を超えています。

なお、有料レジ袋の収益金は、自治体や団体などを通じて、緑化や植栽帯の管理・清掃など、地域の環境保全活動にお役立ていただいています。これまで寄付した累計収益金額は、約7億161万円^{※4}にのぼります。

これからもイオンは、環境に配慮した商品の拡充や資源の持続可能な調達への取り組みなどを通じて、お客さまとともに環境保全や社会貢献活動を続けてまいります。

※1：エリアや店舗、レジ袋の種類によって、切り替えの時期は異なる場合がございます。

※2：国際的な認証機関「SGS SA」と「UL Inc.」よりバイオマス認証を取得し、バイオマス原料を約30～50%含有しています。

※3：2018年度にレジ袋の無料配布を終了した店舗における辞退率です。

※4：収益金とは有料レジ袋の販売価格（税抜）から仕入原価を差し引いた金額です。イオングループにおける、2007年からの2018年度累計収益金額です。

【実施概要について】

開 始 日：2020年4月1日（水）

対 象 店 舗：全国の「イオン」「イオンスタイル」「イオンスーパーセンター」等、全801店舗

<プラスチック製レジ袋（一例）>

主な使用売場：食品・暮らしの品

サ イ ズ：M、L、LL、3L、4L

※エリアや店舗によって、レジ袋の種類やサイズ展開が異なる場合がございます。

※現状はL、LLのみバイオマス原料配合のレジ袋です。
今後順次、全サイズのレジ袋をバイオマス原料配合に切り替え予定です。

価 格：(M) 2円
(L) 3円
(LL、3L、4L) 5円

※記載は一例です。レジ袋の種類によって価格が異なります。

主な使用売場：衣料品

サ イ ズ：S、M、L、LL、3L

※エリアや店舗によって、レジ袋の種類やサイズ展開が異なる場合がございます。

※今後順次、バイオマス原料配合に切り替え予定です。

価 格：(S) (M) 3円
(L) (LL) (3L) 5円

※記載は一例です。レジ袋の種類によって価格が異なります。

<紙袋（一例）>

主な使用売場：衣料品・ギフト

サ イ ズ：小、中、大

※エリアや店舗によって、レジ袋の種類やサイズ展開が異なる場合がございます。

※今後順次、FSC認証紙袋に切り替え予定です。

価 格：一律10円



食品・暮らしの品
新しいバイオマス原料配合レジ袋
のイメージ



今後、順次導入予定のFSC認証紙袋イメージ